

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 2 月 17 日作成)

委員会名	都市計画教育小委員会	主 査 名：北原 理雄
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：鳴海 邦碩
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	都市計画が大きな変革期にある現在、これからの新しい都市計画学への社会的ニーズを背景として、「専門教育のための計画技術教育」「まちづくり立案に係わるコーディネータ教育」「市民を啓発する都市文化教育」を柱として、都市設計・計画教育を再構築する方向性を検討する。 2001 年度：問題の全体像把握 / 2002 年度：都市計画教育プログラムの基礎調査 2003 年度：モデルとなる都市計画教育プログラムと教材の開発 2004 年度：評価と新しい方向性の確認	
委員構成 (委員名(所属))	主査：北原理雄(千葉大) 幹事：卯月盛夫(早稲田大) 野澤 康(工学院大) 委員：有賀 隆(名古屋大) 鷗 心治(山口大) 加藤仁美(東海大) 神吉紀世子(和歌山大) 北沢 猛(東大) 北原啓司(弘前大) 小林英嗣(北海道大) 小林正美(明治大) 齊木崇人(神戸芸工大) 出口 敦(九州大) 根上彰生(日大) 野中勝利(筑波大)	
設置 WG (WG 名：目的)	都市設計・計画教育方法 WG： 本 WG は、新たな都市設計・計画教育プログラム構築のために、それに合わせた具体的な教育方法、教材の開発を行うことを活動目的とする。	
2004 年度予算	250,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会の開催：6月22日(WGと合同、出席8名) 12月3日(出席4名) WGの開催：7月22日(出席7名) 9月28日(出席3名)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 今年度は、昨年度末(2004年3月16日)の公開研究会での成果(『建築雑誌』2004-8号にて報告)をもとに、「大学でのまちづくり実践教育のあり方」「まちづくりの普及・啓蒙」をテーマとして、WGを中心として事例収集やその整理などの活動を行い、以下のような成果を得た。 「まちなか研究室」に代表される大学教育と実践まちづくりを結びつけた事例収集とその公表の意義。 「まちなか研究室」に代表されるまちづくり実践教育が、学生教育のみならず、広く市民へのまちづくり活動の普及・啓蒙に寄与すること。 WGで収集した事例から、いくつかの活動タイプに分類できること。 委員会 HP アドレス：未開設
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 2004 年度の活動計画としては、3点あげた。 1) では大学における都市設計・計画教育の実践調査をあげたが、これについてはやや時期尚早との判断から取り組まないこととした。 2) 3) は上述の2点「まちづくり実践教育」「まちづくりの普及・啓蒙」であるが、これは事例収集・調査・分析を進めて、上記の成果が得られた。 しかし、広く公表するところまでは実現できなかった。
その他評価すべき事項	任期満了に伴い組織変更されるため、以下のように、活動を連続的に展開するための方策を提起した。 上記のように広く公表できなかった点、さらに広く事例を掘り起こせなかった点を考慮して、2005 年度大会でオーガナイズド・セッションを主催することとし、この2つの課題に取り組むこととした。 市民への普及・啓蒙のために、大会プレ企画として試行的にまちづくりワークショップを主催することとした。